



〒975-0031
福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
TEL:(0244)26-1315
FAX(0244)26-1318
E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp

令和7年度 ビブリオバトル相双地区予選会において

令和7年度も相双地区の読書活動を盛り上げましょう

2月21日までにいただいた令和7年度ビブリオバトル相双地区予選会の日程に係るアンケートにお答えいただき、ありがとうございました。相双域内の中学校、高等学校、義務教育学校、特別支援学校の担当者の皆様から貴重な回答をいただくことができました。

アンケートの御意見と地域の行事予定等を考慮し、開催日を9月20日(土)にしたいと思っております。開催場所も要望の多かった南相馬市原町区を第一候補に今後、計画していきます。すべての皆様からの御要望にお応えすることはできませんでしたが、1校でも多くの学校に参加していただけることを願っております。

今年度のビブリオバトルの様子から

令和6年度のビブリオバトル福島県大会は県内7地区で予選会が行われ、中学生が33名(校)、高校生が36名(校)参加しました。相双地区予選会には、中学生4名(校)、高校生2名(校)の合計6名が参加しました。相双地区の最初の単独開催と考えると、参加人数も健闘したと言えますが、これからもさらに多くのみなさんに参加していただけると感じます。

このビブリオバトルは、大会を盛り上げる事と同じくらい、地域の読書熱を高めていくことが目的となっております。読書が大好きな人が読書の楽しさや面白い本を紹介することによって、読書に縁遠い方に新たな本との出会いを作っていくことが理想です。相双地区には素晴らしい公立図書館や個人図書館があり、文部科学大臣表彰に輝く読書団体や個人の方が多数おられます。読書感想文で入賞するお子さんもたくさんいますし、ビブリオバトルを実際に授業や委員会活動で取り入れている学校も増えてきました。

大人の方でも、中学生や高校生が紹介してくれた本を手に取り、「読んでみた。」という話もたくさん聞きます。ビブリオバトルでチャンプ本に選ばれた本でも、惜しくも選ばれなかった本でも発表者の推し本への思いが伝わった作品は、つつい手に取ってしまいます。今回はビブリオバトルで出会った本を2冊ほど紹介いたします。



『また、同じ夢を見ていた』
住野よる (双葉社刊)
相双地区予選では、高校生部門の準チャンプ本でした。作者の住野よるさんは『君の隣臓を食べたい』で有名な作家さんですが、それよりも紹介してくれた高校生からの「幸せって何でしょう」という問いかけが読んでみるきっかけになりました。人生や幸せについて考えるだけではなく、全編を通しての伏線を回収したときには全身が震えます。ビブリオバトルに参加したからその出会いに感謝です。



『成瀬は天下を取りに行く』
宮島未奈 (新潮社刊)
昨年度の浜通り地区予選で、いわき市の中学生が紹介していた作品です。本屋大賞も取り、続編も大ヒットしているので読んだ方も多いと思います。初めは西武ライオンズの表紙に魅力を感じましたが、読んでいくと主人公である成瀬のファンになってしまいます。地域を思う気持ちや行動は被災地にもヒントを与えてくれます。実は成瀬とお別れしたくなくて、続編の最終話を読んでいません……

相双地区でビブリオバトルをもっと盛んにしていきましょう

子どもたちにもっと本に親しんでもらうため、当事務所ではビブリオバトルを一つのツールとして活用していけたらと考えております。相双域内の小・中・高校でビブリオバトルを活用しているところが少しずつ増えてきました。一方、まったく耳にしたこともないという話を聞くこともあります。また、一度体験してみると子どもだけではなく、大人も夢中になってしまうという話も聞きます。そこで、まだ体験したことのない学校様には、相談に乗ったり、お手伝いに伺ったりすることも可能です。ぜひ当事務所のHPをご覧ください。



校内ビブリオを
開催しよう



相双地区予
選会感想集

